※令和３年度以前入学生用

学校番号	T1202

令和５(2023)年度　保健体育科

教科	保健体育科	科目	スポーツⅡ	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	「最新高等保健体育」［改訂版］（大修館）						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自己の能力に応じて基礎･基本的な運動技能･体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味･関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・スポーツⅡの授業を通して、運動をする･見る･支える･調べるといったかかわりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

２　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康･安全に留意して運動をする態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動やスポーツを行う際の服装ができる。 安全面に留意しながら準備運動に取り組もうとする。 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 公正・協力・責任･参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用･発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携･協力して各種目を楽しむ。	運動の技能の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康･安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 等	口頭試問 受講態度の観察 等	技能観察 技能試験 等	口頭試問 受講態度の観察 レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	球技 ネット型	・オリエンテーション ・体つくり運動 体ほぐしの運動 ・球技ネット型 ショートテニス (シングルス)	○	○		○	a:ショートテニスの楽しさを味わうことができるよう、ルールやマナーを大切にしようとすることや自己の責任を果たそうとすることなど健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能試験 レポート 等
	球技 ネット型	・球技ネット型 ショートテニス (ダブルス)	○	○	○	○	a:テニスの楽しさを味わうことができるよう、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能試験 レポート 等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目におい

※令和３年度以前入学生用

て特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。